



研究発表会が開催されました

11月1日に蓮田中央小学校で体力向上、22日に黒浜西中学校で指導法の工夫・改善についての研究成果の発表がありました。市内の小・中学校の教職員は、指導法の工夫や子どもたちの活動の様子を熱心に参観した後、研究協議を行いました。



全校運動(蓮田中央小学校)



技術の授業(黒浜西中学校)

黒浜南小学校の取組み

黒浜南小学校では、6年生が菊の栽培に取り組んでいます。5月の挿し芽に始まり、11月の菊花展覧会出展まで、蓮田市菊友会のかたのご指導のもと、こつこつと育て大輪の花を咲かせることができました。

この貴重な体験活動を通して、植物を育てることの大変さを知ると同時に、自分たちも家庭や地域でたいせつに育てられていることへの感謝の気持ちをもつことができました。



教育行政の点検評価を実施しました

平成24年度の教育委員会の取組みについて点検評価を実施しました。報告書は、市役所の行政資料コーナー、教育総務課窓口、市ホームページで閲覧できます。

中学校部活動の県新人大会結果

- 優勝 黒浜中 女子200mバタフライ 岡美里
- 準優勝 蓮田中 女子バレーボール部
- 第3位 平野中 男子バレーボール部
- 蓮田南中 バドミントン部 (男子団体・女子団体) (女子ダブルス) 醍醐和佳・新田桃子
- 第6位 平野中 陸上部 女子走り幅跳び 矢島亜美
- 蓮田南中 女子200mバタフライ 伊東真奈
- ベスト8 黒浜中 男子バレーボール部
- 蓮田南中 バドミントン部 (男子ダブルス) 尾崎拓海・窪田一仁 (女子シングルス) 醍醐和佳

図書館だより

\*司書のおすすめ\*

司馬遼太郎が描かなかった幕末

一坂太郎著 集英社

現在もファンの多い司馬遼太郎。彼の作品はどの程度創作なのか。この本を読むと司馬が「竜馬」としたことにも納得がいく。再度司馬の作品を読み返したくなる。(こ)

10月の利用者▶8801人 貸出点数▶3万6116点

1月の休館日▶毎週火曜日、1水~4土、13月

図書館☎769-5198



「部員は10人。目標は学校総合体育大会で優勝して全国大会に出場することです。応援よろしくをお願いします!」と部長の山内彩衣さん。粘りのバレーを心がけています。

女子バレーボール部 蓮田中学校

くらしのノート

蓮田市消費生活センター(商工課内)内線248

貴金属等の「訪問購入」にご注意!

ある日突然「不要な貴金属を買い取ります。アクセサリでも見せてほしい」と業者が訪問してきた。母親からもらった金のネックレスを見せたところ「これは不純物が混ざっている」と言われて、5千円で買い取って行った。後日母親に話すと、「あれは良い物で高かったのよ」と言われた。クーリング・オフはできるのか。(30歳代女性)

埼玉県消費生活条例では、改正特定商取引法で適用除外とされている着物、中古車、書籍なども含め、全ての物品・権利の買取り型取引が規制の対象になりました。トラブルを避けるために、次の点に注意しましょう。業者が突然訪問することは禁止されています。電話などで訪問したいと言われても、買い取ってもらうつもりがないなら断りましょう。着物の買取りに来た業者が、同時に貴金属の買取りの勧誘をすることは、法律で禁止されています。訪問購入もクーリング・オフができるようになりますが、一度物品を引き渡すと取り返すことは困難です。クーリング・オフの8日間は物品の引渡しを拒むことができませんので、手元に置いておきましょう。古物を買取る場合は、「古物商許可証」や「古物商行商従業者証」を携帯しなければなりません。話を聞く前に許可証の提示を求めましょう。不安を感じたときは、お近くの消費生活相談窓口にご相談ください。



第10回 蓮田市消防本部

消防長 岡野 和男 さん

にゃんたぶう 今回は、岡野消防長にお話をうかがいます!もうすっかり冬本番ですが、この季節の特徴は何でしょうか。岡野消防長(以下、消防長) 冬は暖房器具などの火気を取り扱う機会が多くなります。空気も乾燥し風の強い日が多くなるため、火災が発生しやすい季節なんです。にゃんたぶう 気をつけないといけませんね。家庭でできる防火対策を教えてください。消防長 ガスこんろのそばを離れるときは必ず火を消す、家の周りを整理整頓する、ストーブは燃えやすいものから離して使うなどですね。また、住宅用火災警報器(右上写真)の設置も重要です。にゃんたぶう 住宅用火災警報器って、どんな効果があるんですか。消防長 寝ているときに発生する火災からの逃げ遅れを防ぐ効果があります。2階に寝室がある場合は、寝室のほかに階段にも設置が必要です。

にゃんたぶう 皆さんの家にも付いているかな?住宅用火災警報器はホームセンターや電器店などで購入できます。



消防長 火災予防のほかに、救急車の適正利用についてもここで話しておきましょう。近年の救急出場件数は10年前の1.3倍で年々増加傾向にありますが、入院の必要がない軽症患者の利用が全体の約50%にも及びます。タクシー代わりの利用は重症患者への出場に支障をきたしますので、ご遠慮いただきたいものです。

にゃんたぶう 家族や隣近所とのつながりを強化して、けがや病気のときに車で病院まで乗せてもらえる体制づくりをするとよさそうですね。

消防長 ただ、ほんとうに緊急を要するときには迷わず119番に通報していただきたいですね。

にゃんたぶう ほんとうに必要な人のための救急車ですからね。今日はありがとうございました!

